

令和元年 11 月 6 日
気象庁予報部
気象庁観測部

配信資料に関するお知らせ

～東京レーダーの更新とそれに伴う運用休止について～

気象庁は、今年度、東京レーダーを二重偏波気象レーダーに更新します。この更新作業に伴い、下記のとおり東京レーダーを運用休止します。

運用休止期間中のレーダーデータの利用及び更新後の「極座標」の配信データの変更について留意願います。

記

1 運用休止期間（予定）

令和 2 年 1 月 23 日（木）～ 3 月 5 日（木）

※運用休止期間は、天候等の都合により変更する場合があります。

運用休止・再開にあたり、レンラク報による周知を行います。

2 運用休止期間中のレーダーデータへの影響

当該レーダーの観測処理範囲（別紙 1）では、降水エコーが観測されない、又は降水エコーが実際より弱く観測されることがあります。影響を受ける観測資料及びプロダクトは別紙 2 のとおりです。

3 更新後のレーダーデータ

更新の前後で、配信されるデータのフォーマットに変更はありません。

空中線走査シーケンス（アンテナを回す仰角の組み合わせ）の変更に伴い、「レーダー毎極座標レーダーエコー強度 GPV」及び「レーダー毎極座標ドップラー速度 GPV」に含まれる観測仰角や仰角数が変わりますが、それらは従来どおりのフォーマットに従ってデータに書き込まれます。

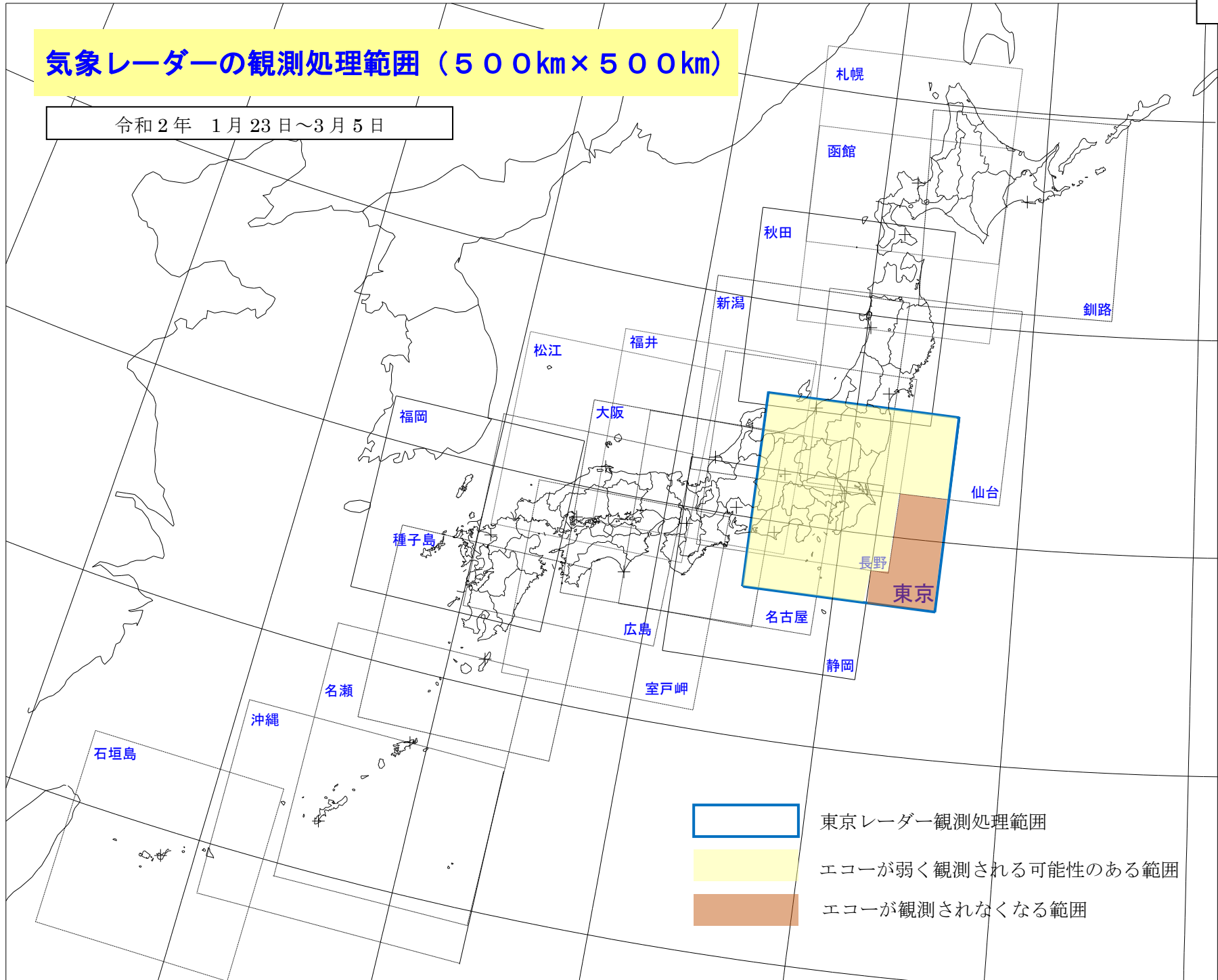
以上

問い合わせ先：

気象庁観測部観測課レーダー運用係
電話 03-3212-8341 内線 4142

気象レーダーの観測処理範囲 (500km×500km)

令和2年 1月23日～3月5日



レーダーの運用休止により影響を受ける観測資料は下記のとおりです。

記

影響を受ける観測資料

- ・ 1 kmメッシュ全国合成レーダーエコー強度G P V
- ・ 5分毎1 kmメッシュ全国合成レーダーエコー強度G P V
- ・ 2.5 kmメッシュ全国合成エコー頂高度G P V
- ・ レーダー毎極座標レーダーエコー強度G P V
- ・ レーダー毎極座標ドップラー速度G P V

また、運用休止に伴いこれらの観測資料を用いて作成している製品の品質等に影響があります。影響がある製品は以下のとおりです。

- ・ 推計気象分布（天気）
- ・ 高解像度降水ナウキャスト
- ・ 降水ナウキャスト
- ・ 解析雨量・速報版解析雨量
- ・ 降水短時間予報値・速報版降水短時間予報値
- ・ 竜巻発生確度ナウキャスト
- ・ 雷ナウキャスト
- ・ 土壌雨量指数
- ・ 流域雨量指数
- ・ 表面雨量指数
- ・ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布
- ・ 洪水警報の危険度分布
- ・ 大雨警報（浸水害）の危険度分布
- ・ 解析積雪深・解析降雪量

以上